

# 六町エコプチテラス事業の実績及び評価について

## 第1章 開設経緯・目的・実績等

### 1-1 六町エコプチテラスの開設

六町エコプチテラス用地は、六町地区土地区画整理事業（東京都施工）の減歩緩和用地として、区が取得した 18,700 m<sup>2</sup>の一部で、将来は、区画整理の進捗に合わせ使用ができなくなる場所でした。

その場所において、足立区の初めての試みとして、『環境に配慮し計画から整備・維持管理までを地域住民と協働で行う「事業型」の六町エコプチテラス』を平成 14 年 10 月 17 日に開設しました。

### 1-2 六町エコプチテラスの概況

六町エコプチテラスは、六町一丁目 11 番に位置し、面積は約 2000 m<sup>2</sup>で、区画整理事業に利用されるまでの期間、暫定的に活用しています。

本事業は、従来の地域住民の憩いの場としてコミュニティ醸成を図る目的に加え、環境やリサイクルに配慮する観点を持ち合わせています。

その方策として、プチテラス内にモデル的にキウイ棚を設置しています(このキウイは、中間緑地として地上への直射日光を防ぐことなど、ヒートアイランド現象の緩和に有効であるとされています(データは、P6 参照))。

そして、キウイの栽培管理を行うとともに、リサイクル活動や無農薬栽培を観点とするエコ農園を設置し、草花や野菜等を育成する活動を続けていくことで、地域レベルでの具体的な環境活動や環境保全情報の発信基地としています。

さらに、地域住民力や民間経営手法を活用し、企画・計画作りや造成・整備及び管理・運営を、地元の環境NPO団体である足立グリーンプロジェクト（発足当時はハイランドプランという団体名称）が行っています。

なお、原則として活動に必要な経費は団体が賄っていますが、初期には（財）足立区まちづくり公社が活動費の一部を援助しました(まちづくり推進援助事業)。

### 1-3 事業化への課題と解決策の検討経過

本事業を実施するために、足立グリーンプロジェクト（以後AGPと記す）は、まず区の窓口（提案に対して相談に乗る部署）を見つけ、さまざまな課題を解決しなければなりませんでした。

#### （1）事業化への課題

##### ①「所管する部署の問題」

「ヒートアイランド対策や温暖化対策になる生ゴミリサイクルとエコ拠点となるような畑」の事業を所管する課は、区役所には見当たりませんでした。また、「どうしたらできるか。」を回答できる課もありませんでした。

##### ②「法の問題」

AGPが考えている事業を実施する手法の一つとして、区民農園的なものを想定していましたが、平成元年に定められた特定農地貸付法により、「区民農園は、地方公共団体と農業協同組合のみが開設できる。」ことと定められていましたので、個人や団体に区民農園的な畑を行うことは出来ませんでした。

##### ③「条例・規則の問題」

本事業の予定地は区有地であり、使用するには区の許可が必要でした。

この許可は、足立区公有財産規則第25条各号（根拠法第238条の4第4項）に該当する場合に限られており、個人や出来たばかりのNPO団体が使用許可を受けることは出来ませんでした。

#### （2）解決策としてのプチテラス

①、②、③の問題を解決するために、AGPから相談を受けた足立区まちづくり課（六町地区のまちづくりにおける区の担当課）は、『地域住民が環境活動や環境情報の発信基地とするのであれば、都市緑化の推進、都市景観の演出、安全性の確保、コミュニティの醸成を図ることを目的とする「足立区プチテラス設置要綱」を準用できるのではないか。』と考えました。

そこで、法や条例に整合することを含めてAGPと事業内容の協議を行い、「エ

コ活動を実践するプチテラス」として開始することを決断しました。

#### 1-4 事業の目的

AGP が立案し、区と公社が承認した本事業の目的は次の通りです。

地球規模の環境破壊が進行し、まちづくりにおいても環境問題への取り組みが不可欠な状況である現在、都心部におけるヒートアイランド防止対策や有機性廃棄物のリサイクル化のモデル事業を実践して、区民への啓発活動を推進する。また、当地区は区画整理事業が進められており、美しいまち並みを実現するための緑化環境や景観形成、環境教育などへの貢献についても検討を行い、緑いっぱいのまちづくり実現に寄与させていく。

#### ◆ エコプチ案内図



AGP ホームページより抜粋

#### ◆ エコプチ施設平面図



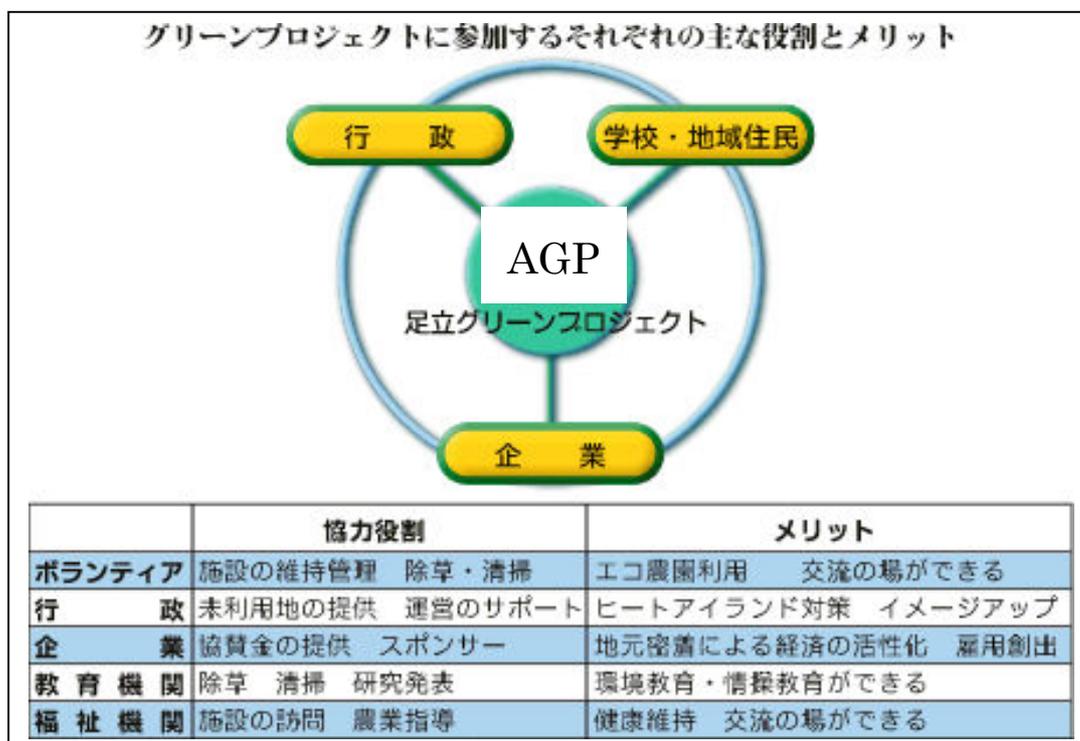
AGP ホームページより抜粋

## 1-5 事業の仕組み

### <AGPプラットフォーム構想>

プラットフォームとは、NPOを基盤に地域の多様な力を結集させた舞台を言います。

行政・学校および地域住民・企業が一体となって『ストップ・ザ・ヒートアイランド』を合言葉に、AGPの事業に参加し協働しています。



AGP ホームページより抜粋

### 役割分担とそれぞれのメリット

#### (1) 足立区・足立区まちづくり公社の役割とメリット

##### ◆ 空き地の有効活用 区のイメージアップ

足立区が事業に関わる諸機関との調整と用地提供を行い、財団法人足立区まちづくり公社がAGPと協定し初期整備への資金援助や助言を行います。

- ・ 区有地の有効活用をします。
- ・ 草刈などの委託事業費を削減できます。
- ・ 費用が民間ベースで環境対策ができます。

## (2) 学校・地域住民の役割とメリット

### ◆キウイ棚の管理 エコ農園の開放 環境教育

草刈やキウイ棚の管理を協力してもらうため、一部をエコ農園として開放しています。環境問題への対策が第一の目的であるという点で、一般の区民農園とは利用条件が異なります。農園利用者はエコ活動の趣旨を理解し賛同する会員とし、家庭から出る生ゴミの減量を行いながらハーブや野菜づくりを行なっています。

農園を利用しない地域住民の方々にも、キウイ狩りを体験してもらったり、キウイ棚の木陰を利用したイベントや講習会を定期的に行い、子供からお年寄りまでが気軽に集まる憩いの場を提供しています。



キウイ棚 AGP ホームページより

## (3) 企業の役割とメリット

### ◆物資の提供および寄付 宣伝広告

費用は、協賛企業からの物資の提供や寄付から調達しており、協賛企業は、AGPフィールドに看板広告を出すことによって地域住民へのPRを行っています。

大手企業や行政がISOを取得してイメージアップをはかるように、地域の企業がAGPに参加することで「環境にやさしい企業」として宣伝されています。

## 1-6 事業内容と実績

### 足元から地球環境を考えよう！

活動拠点である「六町エコプチテラス」では、足元から地球環境を考える仕掛

けとして、環境問題が「見える」「学べる」「手が出せる」というコンセプトを掲げ、身近で楽しい活動の場を提供しています。

### (1) 環境問題が見える。

#### ◆ヒートアイランド対策 ⇒ キウイ棚の設置

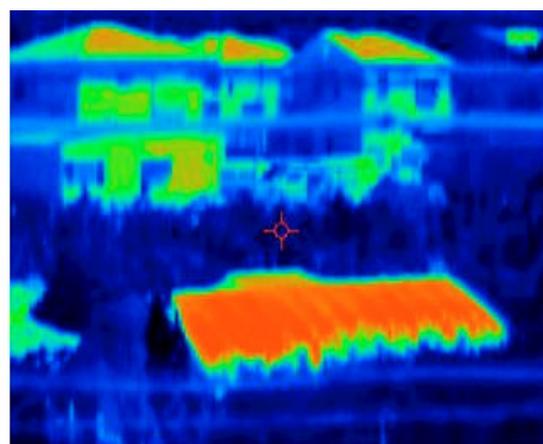
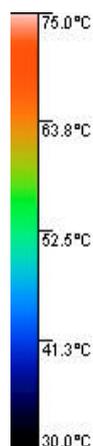
繁殖力が旺盛で、葉の大きなキウイ棚を設置し、葉の蒸散作用と太陽光の地表への遮断による冷却効果が目的です。

キウイ棚の高さは2.5 mあり、棚の下で涼しさを体験することもできます。

平成16年8月5日に放送されたNHK総合「難問解決！ご近所の底力」において、六町エコプチテラスがヒートアイランド対策の妙案として紹介され、東京都立大学三上教授の監修の下12箇所で温度測定したところ、近隣住宅より1～3度気温が低いことがわかりました。

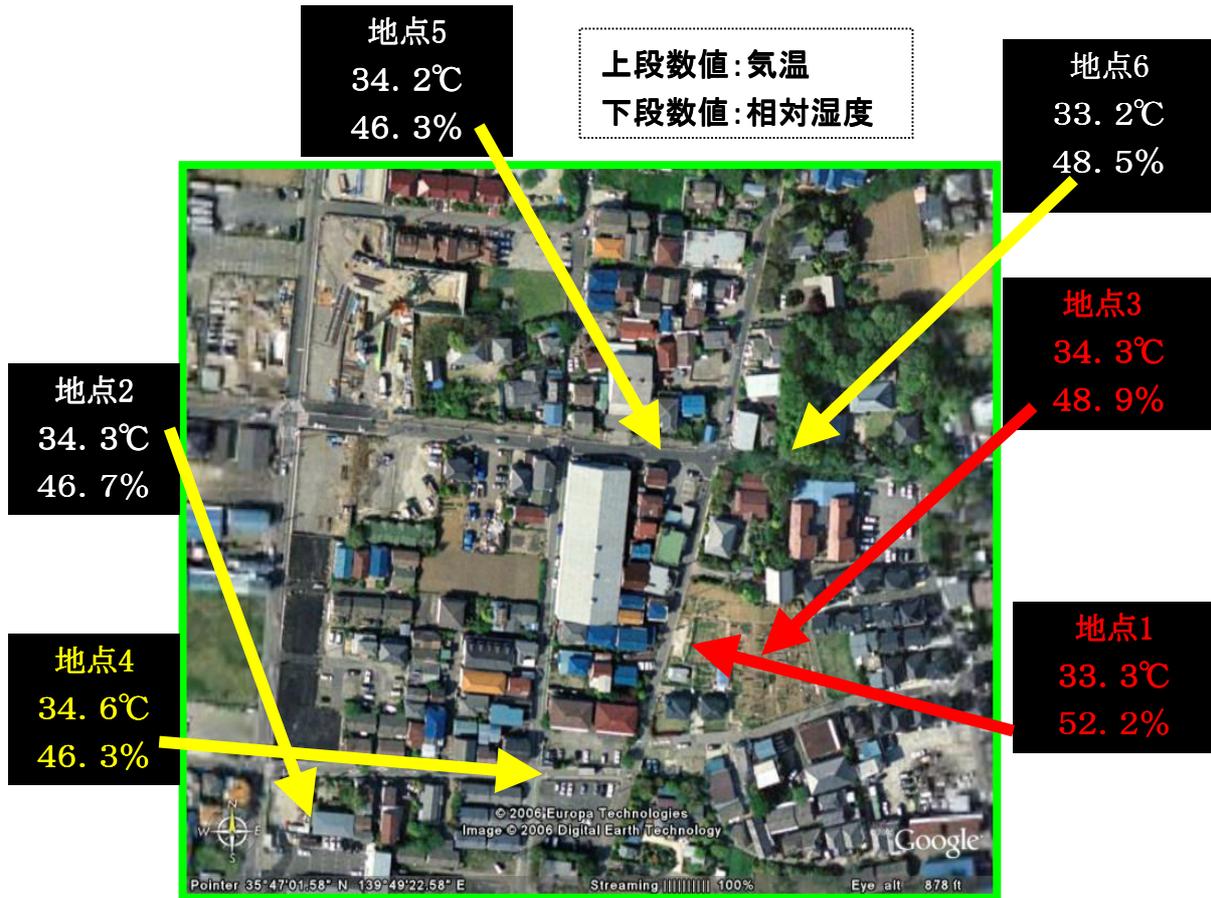
また、明星大学でも以下のような調査結果となり、エコ農園の効果が確認されました。

熱画像（サーモビューアによる測定結果）  
明星大学 理工学部 環境システム学科 調査  
農園内

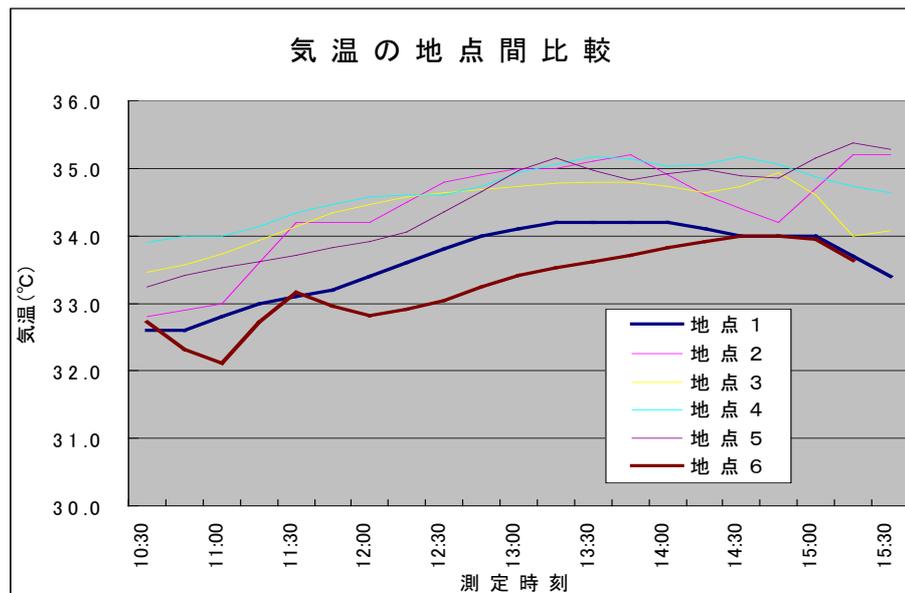


ビニールハウスの黒い屋根は熱を吸収するため、周りの住宅や農園内よりも表面温度が最大で40°Cの差がある。比べて、農園内では緑などの影響により、熱を吸収することがあまりないので、温度は上昇せずヒートアイランド緩和の効果があることがわかる。

## 気温、相対湿度の地域別の平均値



今回の測定で、地点1の農園のキウイ棚と地点6の木陰は他地点の気温と比べ平均で1°C程度低く、緑による日陰の必要性を感じた。



#### ◆地球温暖化対策 ⇒ 生ゴミの堆肥化

エコ農園を利用した生ゴミの堆肥化 ゴミの量を測定し、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）に換算した結果を公表しています。

生ゴミ削減量

これまでの総量 15,680kg

CO<sub>2</sub>削減 3,763kg

可燃ゴミ削減額 94万752円



生ゴミの堆肥化 AGP ホームページより

#### ◆ビオトープ ⇒ 生態系

カエルやメダカ・水生植物を育て、観察することにより自然に触れ合う機会を提供しています。また、ビオトープの水循環モーターをソーラーパネルによって稼働させ、石油エネルギーに変わる太陽エネルギーの利用システムを紹介しています。



ビオトープ AGP ホームページより

◆雨水収集タンクの設置 ⇒ 水資源

雨水を溜めるドラム缶をエコ農園に設置。  
また、風呂の残り湯をドラム缶に運ぶこと  
をすすめることで、水資源の有効利用を考  
えます。



雨水収集タンク AGP ホームページより

◆アルミ缶リサイクル

まちをきれいにするためにアルミ缶の収集を行なっています。そして、専門  
業者を通じてリサイクルすることにより、事業活動資金も捻出しています。

リサイクル量

リサイクル合計	9,294kg
リサイクル額	89万2,235円

(2) 環境問題が学べる。

◆「見える」ことから「学ぶ」ことへ

例えばキウイ棚の設置によるヒートアイランド対策を見て、ヒートアイラン  
ド現象の根本について学んでもらいます。地中の水分が葉の裏から蒸発される  
際にエネルギーを消費することで気温の上昇が抑制されます。また、葉が地面

を覆うことで地表の温度そのものも上がりません。

こういったことを、現地で体験しながら学ぶことができます。



キウイ棚 AGP ホームページより

### (3) 環境問題に手が出せる。

#### ◆「学ぶ」ことから「私達にできること」へ

ヒートアイランド現象の抑制には水分の蒸発が必要ということを「学び」ました。そこで、例えばお風呂の残り湯をエコプチテラスに運び、キウイの周りやエコ農園にまくことで、抑制対策への参加ができるようになっています。

### (4) 事業をささえるボランティアのしくみ

#### ①エコボランティア各部の活動

本事業は各部に所属するエコボランティアの皆さんの活動に支えられています。

◆水管理部 水道管理および雨水利用の提案 区画内にドラム缶を設置し、雨水をためる仕組みを紹介。また、夏に備え各家庭での風呂の残り湯をペットボトルで運ぶなど、水源の有効利用を考える。

◆キウイ管理部 キウイの剪定、受粉、肥料、キウイ棚の管理を行う。

- ◆環境部 家庭ごみ減量の紹介 リサイクル 水資源の有効活用 講座実施 環境学習プログラム開発を行う。
- ◆施設管理部 ごみ拾いや小屋の管理を行う。
- ◆通路管理部 エコプチテラス内の草取り、および通路の整地管理、整地されていない場所をチェックする。
- ◆園芸部 エコプチテラス内の通路、および共同区画の景観維持および花や野菜を植える。ボランティアの希望などの情報収集、野菜や花などの販売の企画提案を行う。
- ◆近隣対策部 道路清掃 自転車の駐輪管理 エコプチテラスの利用時間などプチテラスをより良くするための提案を行う。
- ◆企画部 エコプチテラス運営の企画提案を行う。
- ◆広報部 WEB による広報・案内板に記事を掲載 新聞の環境記事切抜き掲載・収集。全体会での報告を案内板に掲載する。
- ◆全体会運営委員長 全体会での司会・企画・運営を行う。
- ◆フィールドレンジャー エコプチテラスの監視を行う。

## ②ボランティア活動をやる気にさせる制度

### ◆エコポでQ(年間のエコボランティア活動表彰制度)

ボランティア活動ごとにポイントをもらうことができます。一年間の活動を通して総ポイントの高い人が表彰されます。副賞は、収穫したキウイです。

## (5) エコプチでのイベント・講演・講座

### ◆手作りキムチ教室 美味しく安全な食べ物を自分で作ってみたい！

グリーンプロジェクトのスタッフが本格的なキムチの作り方を教えます。

- ◆手作りリース教室 キウイのつる・松ぼっくり・ピラカンサスの実など、身近な植物を使ってナチュラルリースを作ります。



手作りリースづくり AGP ホームページより

- ◆コロッケ畑  
オーナー制度

親子でジャガイモの植えつけ・収穫を体験できる区画です。



ジャガイモの収穫 AGP ホームページより

- ◆地球に優しい  
洗い物・アクリ

油モノを下水に流すと川が汚れてしまいます。手編みのアクリルタワシを作り、また、地球に優しい食器洗いの

ルタワシ教室

コツを紹介します。

- ◆キアゲハ救出作戦 エコプチテラスの「バタフライガーデン」と呼ばれている区画にニンジン、パセリ、明日葉などが植えられています。そして、そこに、エコ農園内で見つけたキアゲハの幼虫を移して育てています。



キアゲハの幼虫 AGP ホームページより



キアゲハの成虫 AGP ホームページより

- ◆菜の花まつり エコボランティアが丹精込めて育てた菜の花がキウイ棚下一面に広がり、黄色い花畑で記念撮影のオンパレードです。



菜の花まつり AGP のホームページより

◆NPO講座

『NPOの広報って何だ』

市民活動を身近に感じてもらうためのNPO初級講座。  
思わず参加したくなる活動の仕掛け方を考える講座です。

『人をつなげる話し方・聞き方のコツ』

NPOにとってコミュニケーションはもっとも大切なこと。  
話す・聞くの基礎を学んでいます。

◆環境講座

『緑を増やして涼しく暮らす・ヒートアイランドについて』

一年の高温化のメカニズムとそれを抑えるための工夫を紹介します。

『持続可能なライフスタイル・ロハスが好き』

健康で持続可能なライフスタイル「ロハス」※。ロハスな生活で自分にも環境に優しくなるコツを紹介します。

※ロハス(LOHAS : Lifestyles Of Health And Sustainability)とは、“健康と環境に配慮し、持続可能な社会を志向するライフスタイル”のこと。

『巨樹は語る～私が出会った木と人の物語』

木や川や自然を大切にしてきた日本の文化や環境問題についての考え方を巨樹を通じて紹介します。



環境講座の様子 AGP ホームページより

## (6) エコプチからの出張講演（各種講座等での講義）

- ◆あだち環境フェア活動報告（2003.6）
- ◆あだちまちづくり大学講座（2003.10）
- ◆第9回あだちまちづくりフォーラム・パネラー（2003.11）
- ◆足立第十三中学総合学習「河川浄化の事例」
- ◆バーマカルチャー塾フィールドワーク（2004.7）
- ◆板橋エコロジー講座（2004.11）
- ◆六木小学校総合学習「河川浄化活動の検証」（2005.1）
- ◆NPO講座 in 和光市（2005.2）

このほかにも多くの講演会・講座で講義しています（P 85～86 参照）。

## (7) 表彰履歴

- ◆2004年 第41回全国花いっぱいコンクール都審査優秀賞

主催 毎日新聞社、(財)あしたの日本を創る協会

花いっぱいコンクールは、花や緑を育てて自分たちの過ごす地域や環境を美しくすると共に、「思いやり」と「ふれあい」の心を豊かにすることに貢献した団体を讃え、表彰するコンクールです。

足立グリーンプロジェクトは、環境に配慮した花づくりが評価され受賞しました。



花いっぱい運動参加花壇 AGP ホームページより

◆平成 18 年度土地活用モデル大賞審査委員長賞

主催 財団法人都市みらい推進機構、後援 国土交通省

優れた土地活用を全国的に紹介しその普及を図るために、既に低・未利用地の活用がなされた模範的な事例、いわば「成功モデル」に着目した事例を募集し、優れた事例について表彰を行うというものです。

区画整理事業用地を暫定活用した環境教育の拠点づくりと、地域住民のボランティア的・自主的参加と民間企業等からの支援協賛によって活動が支えられていることが意義あるものと評価され、受賞しました。

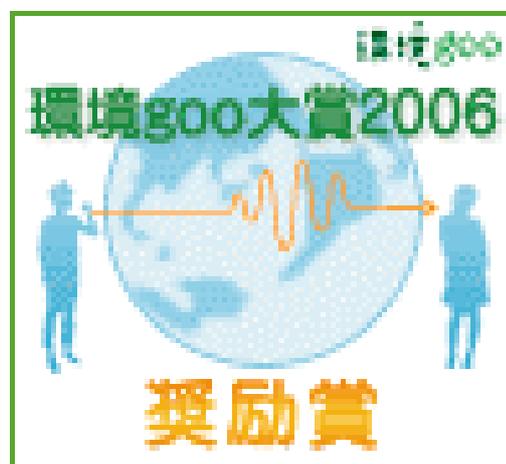


授賞式の様子 AGP ホームページより

◆環境 goo 大賞 2006 奨励賞

主催 環境 goo

消費者のエコライフ推進、企業・自治体の環境保全への取組みや NGO の環境保全活動に対しての情報発信を積極的にサポートすることを目的としたものです。地域に根ざし、足元から考え、活動するというスタンスが伝わるウェブサイトで



AGP ホームページより

あり、さまざまなウェブの可能性が期待できるとのことで受賞しました。

◆第14回コカ・コーラ環境教育賞受賞

主催：財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 協力：読売新聞社

後援：環境省

青少年を対象として、グループ活動を通じて自然を理解し、大切にする教育を行っているボランティア（私的な団体・個人）の活動を助成、支援することによって環境教育の促進を図ることを目的としたものです。

特に、ユニークなプログラムを多数実施していることやHPを積極的に活用した環境学習プログラムを発信していることが評価されました。



AGP ホームページより



## (8) これまでの来園者数

2007年の来園者 8524名

2006年の来園者 8889名

2005年の来園者 9303名

2004年の来園者 8266名

計 34,982人が来園（平成19年12月現在）

## (9) 様々な地域、国からの訪問者

### ◆外国

スイス、ドイツ、スペイン、イギリス、スウェーデン、カナダ、アメリカ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、西バルカン地域、ニュージーランド、韓国

### ◆国等の訪問

農林水産省、環境省、(財)都市みらい推進機構

### ◆地方自治体等

町田市、多治見市、横浜市、調布市、江戸川区、荒川区、仙台市都市総合研究機構、吉川市

### ◆大学等

東京大学、筑波大学、千葉大学、首都大学東京、芝浦工業大学、東洋大学、明星大学、獨協大学、都立科学技術高校、栗島中、青井中、加平小

### ◆会社

EMJ、マサキエンヴィック、NECソフト、アサヒビール、コカ・コーラ、LUSH ジャパン

### ◆NPO等市民団体

広島EM普及協会、バーマカルチャー塾、協働→参加まちづくり市民研究会、野田市福祉園芸プロジェクト、コミュニティガーデンサロン、東京ボランティア・市民活動センター、NPO たい肥化協会、NPO 大地といのちの会、「東京23区内にコミュニティガーデンを作る」準備委員会、まちづくり大学受講者、吉川市コミュニティ協議会&よしかわNPO連絡会、NPO 支援センターちば

## (10) メディアへの出演

六町エコプチテラス事業での幅広い活動実績のひとつとして、メディアへの出演があげられます。

AGPでは、これまで多くのテレビに出演しており、また、新聞・雑誌等からも数多くの取材を受けています。

その分野も、環境にはじまり、都市政策、不動産（土地活用）、公衆衛生、教育、NPO・市民ボランティアといった幅広い分野・業界に及んでいます（メディア出演一覧はP83～85を参照してください）。

これまでも区民主体の活動がメディアの注目を集めた事例はありますが、地元NPO団体の活動のなかで、これだけ多くの分野・業界から、これだけの期間注目を集めた事例はあまりないと思われま